

HIV 検査の結果が陰性の場合は何を意味するのですか？ - HIV 検査、パート 6

陰性という結果は必ずしも正確ではありません。いつ HIV に感染し、いつ検査を受けたかによって結果は異なります。

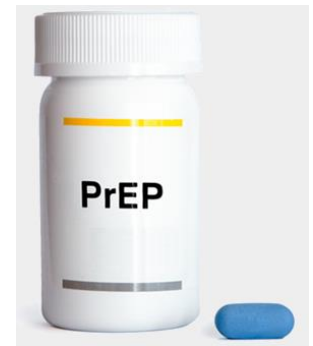


HIV に感染した疑いがある時から検査で感染を検出できるようになるまでにウィンドウ期という期間があるためです。ウィンドウ期は、受ける検査によって異なります。

HIV 感染の疑いがある時から 3 カ月内に抗体検査を受け、その結果が陰性だった場合は、3 カ月後に再度検査を受けてください。

NAT または核酸増幅検査の場合、ウィンドウ期は短くなります。NAT 検査は同時検査、RNA 検査、ウィルス量検査とも呼ばれます。

HIV 検査で陰性だった場合、担当の医療機関に、再検査の必要性と時期を尋ねてください。



同時に、次のような HIV 感染予防も引き続き行ってください。

- 性交の際にはコンドームを使用する
- 注射針や、その他ドラッグ摂取のための「道具」を共有しない
- HIV 陰性ではあるものの HIV 感染のリスクが非常に高い場合は、暴露前予防投薬、つまり PrEP の薬を服用して HIV 感染を予防してください。

注意してください - 陰性結果は**過去の曝露**に対するものです。検査結果が陰性であっても、感染リスクの高い行為を続ける場合は HIV に感染するリスクは消えることはありません。



HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。

Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN276201500011I awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.